

出演:毛利 衛 (日本科学未来館 館長)他/ナレーター:ラサール石井 企画・監修:日本科学未来館/制作・著作:株式会社IMAGICA FORCE/配給・著作:株式会社D&Dビクチャーズ 著作:株式会社ソニー・ビクチャーズエンタテインメント/ブロジェクト協力:株式会社手塚プロダクション

ロボット協力: 本田技研工業株式会社/ソニー株式会社/株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)/早稲田大学 理工学部 高西淳夫研究室

©IMAGICA FORCE/D&Dピクチャーズ/ソニー・ピクチャーズエンタテインメン

## 全天周映画(大型ドーム映像)

上映期間:2005年1月12日(水)~2005年7月3日(日)

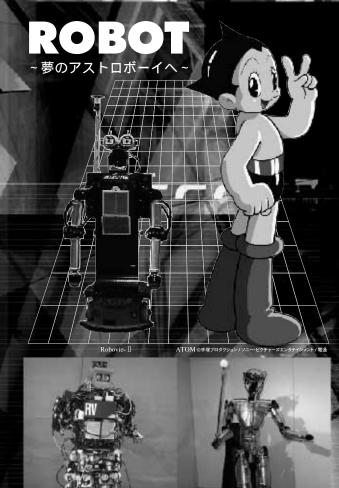
プラネタリウムのある科学館 倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷内 (福田公園北隣) TEL (086)454-0300 FAX (086)454-0305

## 僕らの新しいパートナーとしてのヒト型ロボット

ASIMOやQRIOで一躍、注目されるようになったヒト型ロボット(ヒューマノイド)・・・その研究開発は、日本が世界をリードしていると言われています。それでは、その研究者達は、ヒト型ロボットにどんな夢を託しているのでしょうか・・・?





そもそも、「ROBOT」という言葉は、チェコの有名な作家カレル・チャペックが1920年に発表した戯曲、「R. U. R (ロッサム万能ロボット製造会社)」の中に出てきた造語です。人間のために働いてくれる便利な機械として製造されたのですが、最後は敵となって人類を滅ぼしてしまう物語です。欧米では、長い間、このチャペックの物語がロボットに対するイメージに強い影響を与えてきたのです。

しかし、日本では事情が違いました。

そう、1952年に発表された手塚治虫の「鉄腕アトム (アストロボーイ)」です。科学技術の粋を集めて誕生した最高のヒト型ロボットの姿が、誰にでも親しまれる可愛い子供の姿をしていたことが、まずは革新的でした。そして、人間の友達としてアトムが大活躍するストーリーに、たくさんの人たちが未来への夢を膨らましたのでした。

いつか、鉄腕アトムの世界のように、ロボット達が私たちの社会や家庭の中でパートナーとして活躍する明るい未来を実現させる。そんなことを夢見て、多くの研究者達は、研究開発を進めているのです。

一方、脳科学や心理学などの基礎的な研究分野でも、ヒト型ロボットの活躍は始まっています。「ヒト型ロボット研究を通して、人間そのものを知る」・・・ この魅力的なテーマに挑戦しているのも、世界最先端のロボット研究の取り組みの一つです。

この映画の中では、ASIMOやQRIOが登場し、人と見事な掛け合いをします。彼らは、台本どおりの動きをしており、今の段階では、未来館のASIMOは展示説明をしていますが館内を自由には動けないし、QRIOも家庭でこんな風に暮らしてはいません。しかし、ヒト型ロボットが私たちの日常生活の中に溶け込み、パートナーとして活躍する未来は、すぐそこまで来ているに違いありません。

上映時間:36分/監督・脚本:豊川隆典/音楽:高橋康治 制作年:2004年/配給:(株)D&Dピクチャーズ D.

開館時間 9:00~17:00 休館日 月曜,祝日,年末年始 観覧料

観覧料			
区分	金額	個 人	団 体 (20人以上)
展示室	おとな	400円	320円
	こ ど も (高校生以下)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども (高校生以下)	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども (高校生以下)	200円	160円
プラネタリウム	おとな	600円	480円
全天周映画	こども (高校生以下)	300円	240円

全天周映画上映開始時刻

火~金曜 14:40~

土·日·春休み期間中 10:00 ~ 12:20 ~ 14:40 ~ 全天周映画休演日 2/8 ·9 ,6/14 ·15

プラネタリウム上映開始時刻

DYNAMIC BRAIN

火~金曜 15:50~

土・日・春休み期間中 11:10 ~ 13:30 ~ 15:50 ~ プラネタリウム休演日 2/8 ·9 ,3/1 ~3 6/14 ·15 ,7/5 ~7

## アクセス

- ・国道2号線 笹沖交差点から車で15分 (古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- ・瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分 (広江交差点で右折後,最初の信号を右折)

